



科学技術週間
2015

サイエンスカフェのお知らせ



第1回：新しい技術で、野生動物の日常を解明する
～バイオリギング手法を用いた海洋捕食動物の生態学的研究～

日時：2015年4月13日（月）15:30～
(15:00 開場・16:30 終演予定)

場所：文部科学省旧庁舎「情報ひろば」1F ラウンジ
(東京都千代田区霞が関3-2-2 旧文部省庁舎3階)
交通：銀座線「虎ノ門」駅11番出口直結、千代田線・丸ノ内線・日比谷線「霞ヶ関」駅A13番出口徒歩5分

講演者：渡辺佑基（国立極地研究所）



「海洋動物はみなさんが思っているのとちょっと違いますよ」という渡辺助教。電子デバイス技術の発展によって超小型かつ高性能の記録計が開発され、これを動物に取り付けることによって、これまで知られていなかった動物の生態が徐々に明らかになってきました。この「バイオリギング」という手法でわかってきた最新の研究成果から、「マグロは高速で泳ぐ?」「アザラシはどうやって休む?」等、地球上の生物たちの日常をご紹介します。

●わたなべ・ゆうき：国立極地研究所生物圏研究グループ助教。1978年、岐阜県生まれ。農学博士（東京大学）。動物の体に記録計を取り付ける「バイオリギング」という手法で、近年は特に動物の捕食活動の調査を積極的に行っている。著書『ペンギンが教えてくれた物理のはなし（2014）』等。

情報ひろば企画展示 同時開催

情報ひろば3階「企画展示室」において、2015年4月1日～7月末（予定）の期間、研究をつなぐさまざまなネットワークや情報・システム研究機構の活動を伝える展示を行っています。

※入場無料、開館時間 10:00～18:00（入館は 17:30 まで）。

企画展示期間中の4・5・6月第2月曜日、3回シリーズでサイエンスカフェを開催します。

※主催・お問合せ先：大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構、国立極地研究所

●これからのサイエンスカフェ開催予定
第2回：「研究が正しいかどうか」は、なぜわかる？

講演者：丸山宏（統計数理研究所 教授）

日時：5月11日（月）15:30～

第3回：ビッグデータ時代の研究を「つなぐ」基盤
講演者：大向一輝（国立情報学研究所 准教授）

日時：6月8日（月）15:30～